

会報

No. **111**

平成29(2017). 10. 1

まちと人がつながる「あかし市民図書館」へ

あかし市民図書館 館長代理 森谷幸子

明石市立図書館の旧館は、1974年10月に、自然あふれる明石公園の一角で、兵庫県立図書館と同時に開館しました。巡回文庫の創設、分館の開館、コンピューターシステムの導入など、時代とともにサービスを変化させながら、レガツクリの図書館は42年間の長きにわたり、多くの市民の皆様にご利用いただきました。

2017年1月27日、明石市立図書館は、明石駅前再開発ビル「パピオスあかし」4階へ移転し、あかし市民図書館と名称を変え開館いたしました。

図書館の階上の5階には、こども図書室（あかし子育て支援センター内）や一時保育ルーム、6階にあかし総合窓口などの公共施設が配置されています。また、2階にはジュンク堂書店があります。ビルには、書店・市民図書館・こども図書室と、本のある施設が集まっています。



<あかし市民図書館書架>

新図書館は、6階の書庫を含めた延床面積が約4,105㎡で、60万冊の資料が収蔵でき、2017年3月末時点での蔵書数は約39万冊です。駅前という立地で、多くの市民の方にご利用いただくため、平日の開館時間は10時から21時、休館日も月1日となり、幅広いご利用をいただいています。図書館の北側に面した大きな窓からは、明石公園の緑に、明石城、JR・山電明石駅の電車やバスの発着など、広がる景色を一望できます。窓に向かって配置された閲覧席では、いつも多くの方がゆったりと読書を楽しんでおられます。

新館開館を機に、図書館ではロゴマークも作成いたしました。明石の「あ」を「+」と「α」の文字でシンボ

ライズしたマークです。「暮らしにプラスαを」というコンセプトを表現しました。「α」の部分がさかなにも見え、市民の方にも好評をいただいています。より親しみのある図書館のイメージを発信することで、今までの利用者にも、図書館から遠い世代の利用者にも、図書館に足を運んでいただき、暮らしにプラスαとなる情報に出会える場所でありたいと考えています。

図書館でのイベントも、プラスαとして位置づけています。最近では、子どもたち向けの「夏休み応援ラボ」や、映画監督をお招きしての映画会、図書館お泊り会なども開催しました。地域の施設や様々な専門家の方にも協力いただいています。ときには図書館を飛び出し、図書館だけでは完結しない「本と人」「人と人」が出会い、つながる場所となるような図書館イベントを今後も開催してまいります。



<図書館お泊り会>

明石市はまもなく、市制100年、明石城築城400年をむかえます。この節目にあわせ、館内のふるさと資料コーナーでは、郷土に関連する資料を充実させるため、収集・整理をすすめています。城・城下町に関する資料、漁業や魚に関する資料、企業の社史もふるさと資料として位置づけました。ふるさと資料の整理は、先人の情報を整理し、今を生きる人に提供する作業です。しかし、これからは情報の整理に加え、図書館が主体となり地域の方と一緒にふるさと資料を作成していくことも、あかし市民図書館が果たすべき役割ではないかと考えています。現在の明石を資料としてまとめ、100年後の未来へ届けるため、地域の人とのつながりを深めながら、実現に向かいたいと思います。

あかし市民図書館は第一歩を踏み出したところです。市民の方に求められる、地域の情報拠点、文化と賑わいの拠点となるよう、努めてまいります。

もっと必要とされる図書館へ

豊岡市立図書館・豊岡本館 いえもと ゆみ 家元 由美

現図書館が、平成 11 年に独立館として移転開館する前年に、図書館準備室に採用され、20 年目になります。その間、育児のために休暇をいただきましたが、変わらず図書館に勤めています。思い返せば、新卒で採用され、社会人として全く未熟であった私を、多くの先輩方が支えてくださいました。今回の勤続 15 年表彰は、当時の先輩たちのような情熱や知識を持って、利用者の方々や同僚に接することができていたのか、と自らを顧みる良い機会をいただいたと感じています。

平成 17 年の 1 市 5 町との合併を経て、現在は、本館と 5 分館の体制で運営しています。昨年度には、市民アンケートや、ワークショップ、市民との協働会議などで検討した内容を盛り込んだ「豊岡市図書館未来プラン」を策定し、「学びとつながりの場」としての図書館を目指し、動き始めたところです。もっと市民の皆様が必要とされる図書館となるために、理想を描き、熱意を持って日々の業務に取り組んでいきます。

変わりゆくなかで

豊岡市立図書館・出石分館 わかやま くみこ 若山 久美子

本に囲まれて仕事がしたいという願いがない、図書館で働きはじめて、知らぬ間に 15 年が経過していました。この間、私の働く環境も大きく変わりました。1 市 5 町の合併を機に、旧 5 町に図書館の分館が整備され、市立図書館は本館・分館と 6 館の体制が整いました。そのうちの 2 館の立ち上げに私は関わらせていただき、小さいながらも一から図書館を作り出すという貴重な経験をさせてもらいました。ソファの色、棚の配置を決めたり、空っぽの書架に自分で決めた分野の本がどんどん入っていく。大変な作業ではありましたが、過ぎてしまえば楽しい日々でした。この時も常に、住民の方々に気軽に利用してもらえる図書館って一体どんな図書館なのだろうと考えていました。その問いかけは今も続いています。この先も図書館は今まで以上に変化し、進化していくと思います。そんな中でも、私は、市民の生活に寄り添った図書館を作りたいという思いは変えないでいきたい、そう考えています。

来フ拉里~

身近に図書館のある幸せを届けたい

豊岡市立図書館・城崎分館 にしむら のりこ 西村 範子

私は、平成 14 年に旧出石町公民館図書室に採用されました。当時は図書担当 1 名で、目録カード、分類ラベル等を手書きで作成していたことを懐かしく思い出します。平成 17 年に、1 市 5 町が合併して新豊岡市となり、旧 5 町の公民館図書室が市立図書館の分館となりました。6 つの地域の本と人とがネットワークで繋がり、同僚にも恵まれました。そして、昨年度は新しい図書館のあり方を検討した「豊岡市図書館未来プラン」を策定し、「学びとつながりの場」としての図書館を目指して歩み始めたところです。図書館も時代の中で大きく変化しているように感じています。

その中で、今秋、城崎分館が開館 10 周年を迎えます。先日ある利用者から「城崎分館がオープンした日は、私たち家族にとっても、本のある生活が始まった記念日です」との言葉をいただき、大変嬉しく思いました。身近に図書館がある幸せを地域の方に感じていただけるよう、一層精進してまいります。

求める先にある答えを導くために

丹波市立中央図書館 かねこ さえ 兼古 佐恵

小さな公民館図書室から始まり、図書館の仕事をはじめて 15 年が経ちました。氷上郡 6 町の合併による丹波市の誕生を経て、年々地域や利用者の皆様にとって図書館の存在がより生活の中に浸透してきている、と感じております。

この 15 年で一番感じたことは、図書館員は“人”との接し方が思いのほか重要である、ということ。知識や情報収集能力の向上はもちろんのこと、利用者の身になり、求められたことに対してどうお応えし提供していったらよいかを常に考え、丁寧な言葉づかいや立ち居振る舞いで接していく。人の数だけ答えがあり、毎日が発見と勉強の連続です。

電子化や人工知能の発展に伴い、これからの図書館業務は人の手が減り、いずれ仕事なくなることも懸念されています。図書館に何かを求めて来られる方の想いを見て聞いて感じ取り、先にある答えを導く道先案内人として今後も精進していきたいと思っております。

ひきつづき
来フアリ～

アンテナを張っています

丹波市立柏原図書館 きぬがわ 衣川 さちこ 砂智子

家族でよく利用していた氷上町立図書館に縁あって勤務するようになって7年（その間に6町の合併があり、丹波市立中央図書館になりました）、その後柏原図書館へ異動して8年と15年余りを図書館で過ごしてきました。

15年間図書館で仕事をしてきた中で、私が大事だと感じていることの一つに「常にアンテナを張っておく」があります。私が勤務している柏原図書館は規模が小さく、利用者さんとの距離が近いせいか様々な問い合わせを受けます。中でも一番多い「何かおすすめの本ない？」には日々苦勞しており、これにはアンテナに引っかかる情報は欠かせません。そうやってすすめた本を喜んでもらえるのは嬉しいもので、いつでも「これどうぞ！」と言えるようにアンテナを張り巡らせ続けたいと思っています。

また、このアンテナは他にもレファレンスや館内の展示、図書館行事にも大いに役立ってくれますので、これからも折れないように大切にしていきます。

日々一歩

丹波市立市島図書館 いなはた 稲畑 すみよ 寿美代

まだ私が、見知らぬ土地に馴染めず心細い思いでいた頃、町に図書館が立ち上がり、縁あって臨時職員として従事することとなりました。職場や利用者の方からさまざまなご指導をいただき、おかげさまで地域にしっかり根付くことができました。

現在は合併で勤務体制なども変わり、市島町を含む6町で一意奮闘し毎日の業務に励んでいます。

丹波市の図書館は中央館以外、どこも小さな規模ですが「気軽に利用できて有難い」とおっしゃっていただくことも多いので職員としてはうれしいかぎりです。ただ、子どもたちが自力で図書館まで来ることが出来ない現状がハードルを高くしているようで学校に「置き本」をして市内の図書館を活用していただくことがほとんど。それでもブックスタートの際にお渡ししたバックを持って何年も通ってくださる親子や、ブックトークを聞いて本に興味を持って来てくれる子どもたち…図書館の地道な活動が長い年月をかけて浸透しているのを実感します。

永年勤続表彰を機に新たな気持ちでたくさんの方に図書館を利用していただけよう努力を惜しまず一歩一歩進んでいきたいと思ひます。

他館紹介

近隣施設や行政との連携から生まれるサービス
～先進的取組みから、身近なアイデアまで～

姫路市立城内図書館は姫路城の中曲輪（くるわ）に位置し、緑に囲まれ広々とした敷地の中にあります。

まず入り口を入ると正面に並んだパンフレットラックが目に入ります。「医療機関情報コーナー」を設置されており、姫路市内の医療機関のパンフレットやチラシ類が並べられています。お聞きしたところによると、1件ずつ依頼して揃えていったそうです。また、近々兵庫県看護協会とも連携企画があるそうで、地道な努力を感じました。



＜医療機関情報コーナー＞

次に、入り口右側エレベータ前には、「マイナンバーカードによる本の貸出サービス開始」の文字が見えます。平成28年11月から開始され、JPKI方式（パスワードの入力が必要）を採用されています。

さらに館内児童コーナーには、「夏休み子ども応援カウンター」が特設され、夏休み中に訪れた子供たちが次々と相談に来ていました。他にも「なつやすみ図書館フェスティバル～この夏、図書館は子どもたちを応援します！」というキャッチフレーズをかけた、「ミニ・ビブリオバトル」・「図書館探検ツアー」・「調べ学習チャレンジセミナー」など様々な取組みがなされています。教育委員会主催の「ジュニア姫路検定」にも参加され、市内の行政が持つ複数の施設と連携した取組みも行われています。このような近隣施設や行政との協力や連携企画が多く、実施することで相乗効果がでているそうです。この見学を通じて、身近に同じ取組みをする仲間がいることをより心強く感じました。よい機会をいただき、ありがとうございました。

＜夏休み
子ども応援
カウンター＞

(神戸市立中央図書館 棟安陽子)

協会からのお知らせ

表彰者の紹介（敬称略）

永年 家元由美（豊岡豊岡）
若山久美子（豊岡出石）
西村範子（豊岡城崎）
兼古佐恵（丹波中央）
衣川砂智子（丹波柏原）
稲畑寿美代（丹波市島）

平成29年度役員紹介（敬称略）

会長 善部 修（県立）
副会長 清宗 衛（県立） 笹井 徹（神戸）
磯邊 宏（猪名川） 益田喜進（姫路）
理事 丸尾恵子（芦屋） 竹内久義（加古川）
伊藤真紀（三木） 片木美智（太子）
赤井毅彦（篠山） 田中達人（朝来）
居内秀樹（洲本） 中村雅彦（議会）
監事 北 裕幸（西宮） 番匠真由美（相生）

平成29年度全国図書館大会助成事業

- 伊丹市立図書館
ことば蔵開館5周年記念シンポジウム／第1部：記念講演「未来の図書館はじめませんか」、第2部：「交流フロア運営会議」／講師：岡本真氏（アカデミック・リソース・ガイド(株)代表取締役）／7月1日（土）
- 西宮市立鳴尾図書館
連続講座「描かれた阪神間 小説・映像・アニメ」／講師：土居 豊氏（文芸評論家）／平成30年1月7日（日）、1月28日（日）、2月18日（日）、3月4日（日）、3月25日（日）
- 加西市立図書館
絵本講座「子どもと絵本をたのしむ」／講師：土居安子氏（一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 総括専門員）／11月4日（土）
- 福崎町立図書館
ストーリーテリング講座（全3回）／講師：小栗 栖真弓氏（姫路おはなしの会）／平成30年1月24日（水）、2月21日（水）、3月22日（木）
- 丹波市立中央図書館
平成29年度丹波市子ども読書推進講座 第1回「絵本はなぜ大切なのか」、第2回「良い絵本とは」／講師：芦田悦子氏／1月20日（土）、2月17日（土）
- 西宮市立北口図書館
職員向け研修会「クレームや不当要求に対応するための接客研修」／講師：危機管理アドバイザー／平成30年2月1日（木）

- たつの市立龍野図書館
読書講演会／講師：あさのあつこ氏（作家）／平成30年3月21日（水・祝）
- 豊岡市立図書館
図書館サポーター「ちえのわ」（仮称）設立準備／平成29年度中
- 兵庫県立図書館
図書館寄席／桂紋四郎（落語家）／平成30年2月（予定）

平成29年度の大会・研究集会（今後の予定）

- 文科省・図書館地区別研修（近畿地区）のご案内
開催日：平成30年2月6日（火）～2月9日（金）
場所：神戸市教育会館
（神戸市中央区中山手通4-10-5）
主催：文部科学省・神戸市教育委員会
研修全体テーマ：「図書館、踏み出す一歩」
基調講演：『図書館のこれまでとこれから』
／講師：大串夏身氏（昭和女子大学名誉教授）
その他研修内容：
課題解決支援サービスやオープンデータ、当該地域の実践報告、学校司書、複合施設、新NCR等、図書館員が知りたい最新の情報を含んだ研修構成。
詳細については、別途お知らせいたします。
例年の研修ではありますが、皆様、積極的にご参加下さい。お待ちしております。
（神戸市立中央図書館）

- 第103回全国図書館大会東京大会
10月12日（木）、13日（金）／国立オリンピック記念青少年総合センター
- 全国公共図書館研究集会
・サービス部門及び総合・経営部門
11月30日（木）、12月1日（金）／宮城県仙台市 東京エレクトロンホール宮城（宮城県民会館）
・児童青少年部門
平成30年1月18日（木）、19日（金）／大阪市立中央図書館

兵庫県図書館協会会報 No.111
平成29(2017)年10月1日 発行
編集・発行：兵庫県図書館協会
〒673-0891 明石市大明石町2-1-29
兵庫県立図書館内
Tel 078-918-3366 Fax 078-918-2500
E-mail:hyoto_hyotokyo@library.pref.hyogo.lg.jp